

第2回検討会と第2回アンケートでの意見や各関連部署、関係者との調整を行い、計画案を作成しました。  
 第3回検討会は、「計画案を確認しよう」というテーマで、ご意見を頂く場とします。  
 ご意見などはお近くのスタッフまでお願いします。

これまでの検討会とアンケートでの意見や各関連部署、関係者との調整をふまえ作成した計画案



ボール遊び場はアンケートでは要望が多かったが、これまでの検討会やアンケート調査、現地調査、そして近隣住民の生活環境の観点を改めて踏まえ、総合的に検討した結果、今回は設置しないこととした。(ボール遊びについては今後の改良工事を視野に入れて検討を進めていく。)  
 近隣へ配慮し、地盤は上げずに既存部とはバリアフリー基準を満たしたスロープと階段をつなぐ。  
 広場は、緑の景観に合う自然の風合いのあるナチュラルな土系色の舗装。

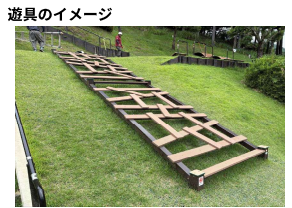
既存と同様。  
 修景と休憩のためのフッターベンチを設置。  
 防災訓練等の際は移動が可能。

可動式のプランターベンチを設置しボール遊びを抑制するとともに、休憩機能を拡充する。  
 地元町会の防災訓練時には、鍵を外して移動させる。



階段は踏面を広くし(通常のバリアフリー基準よりも広く確保)、ゆったりと歩くことができる。手すりを設置し安全面に配慮。

みどりの斜面は、1:2勾配(≒30°)から1:3勾配(≒17°)へ変更。17°勾配は、立ち止まったり、座ってくつろいだりできる角度であり、勾配を緩くしたことで、より安全に利用可能。  
 斜面に高低差を活かしたアスレチック系遊具を設置する。



既存の土留めを撤去し、みどりの斜面と一体的に造成する。既存の大径木を残し、みどりを愛でながら木陰のデッキで休憩ができる。

既存の土留めを撤去し、みどりの斜面と一体的に造成する。既存の大径木を残し、みどりを愛でながら木陰のデッキで休憩ができる。

既存の土留めを撤去し、みどりの斜面と一体的に造成する。既存の大径木を残し、みどりを愛でながら木陰のデッキで休憩ができる。

既存の土留めを撤去し、みどりの斜面と一体的に造成する。既存の大径木を残し、みどりを愛でながら木陰のデッキで休憩ができる。

既存の土留めを撤去し、みどりの斜面と一体的に造成する。既存の大径木を残し、みどりを愛でながら木陰のデッキで休憩ができる。

既存の土留めを撤去し、みどりの斜面と一体的に造成する。既存の大径木を残し、みどりを愛でながら木陰のデッキで休憩ができる。

既存の土留めを撤去し、みどりの斜面と一体的に造成する。既存の大径木を残し、みどりを愛でながら木陰のデッキで休憩ができる。



A-A 断面図

